

別紙 2

団体の活動状況

1 団体の概要

(1) 主流派及び上祐派について

団体は、麻原彰晃（以下「麻原」という。）に対する絶対的帰依を明示的に強調する主流派（「Aleph」、「山田らの集団」など）と、麻原に絶対的に帰依しながらも、外形上、麻原の影響力を払拭したかのように装い活動する上祐派（「ひかりの輪」）に分かれて活動している。

(2) 構成員数

団体は、国内に約1,650人の構成員を擁している。特に主流派は、組織的な勧誘活動を積極的に展開し、本年（令和2年）中は、60人以上の構成員を獲得した。

(3) 団体の資産

団体が報告する資産（現金・預貯金・貸付金）については、令和2年10月末時点における総額が約6億2,100万円である。団体の資金源は、在家の構成員を対象とした「集中セミナー」などの各種イベントの参加費や、布施によるものである。

(4) 団体の施設

国内における団体の拠点施設については、15都道府県に主流派25施設、上祐派6施設の計31施設が存在している。

2 主流派の活動

主流派は、依然として、在家の構成員を対象とした年3回の「集中セミナー」や、麻原の誕生日を祝う「生誕祭」などの各種イベントを開催し、出家した構成員が在家の構成員に対し、麻原の偉大性を強調する説法を行うなどして、麻原に対する絶対的帰依を扶植する指導を継続している。

また、主流派は、新規構成員の獲得に向けた勧誘活動を団体の重要な取組と位置付けており、全国の施設を有する地域を中心に、団体名等を秘匿した組織的な勧誘活動に取り組んでいる。

3 上祐派の活動

上祐派は、外形上、麻原の影響力を払拭したかのように装う“麻原隠し”の取組を推進してきたところ、施設内には、依然として麻原を投影した仏画を掲示しているほか、麻原の著作等を保

別紙 2

管しているなど、今なお麻原の影響下にある実態が確認されている。

また、上祐派は、年3回の「集中セミナー」を開催したり、上祐史浩が聖地と定めた神社仏閣などを訪問する「聖地巡り」を繰り返し実施したりするなどして、構成員の指導を行っている。

以 上